

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 39 号	氏名	福田 雄一
学位審査委員	主 査 伊藤 敬 副 査 永安 武 副 査 佐藤 伸一		
論文審査の結果の要旨			
1 研究目的の評価 近年マクロライド系抗菌薬に耐性の肺炎球菌が増加しているが、マクロライド系抗菌薬による耐性の肺炎球菌の治療失敗例の報告は少なく、本研究ではその乖離の理由を明らかにしようとしたもので、目的は十分に妥当である。 2 研究手法に関する評価 本研究では、臨床分離されたマクロライド耐性肺炎球菌を用い、マクロライド系抗菌薬による MIC (minimum inhibitory concentration) を測定した。次に <i>in vitro</i> においてマクロライド耐性肺炎球菌と共培養し、western blot 法および馬赤血球溶血活性測定法にて肺炎球菌の最も重要な病原因子であるニューモリシン蛋白産生量および活性を評価した。 さらに、<i>in vivo</i> においてマウスに耐性肺炎球菌を経鼻感染させ、マウス肺内のニューモリシン蛋白産生量を評価し、生存率と比較し解析したもので、研究手法も妥当である。 3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、sub-MIC のマクロライド系抗菌薬が <i>in vitro</i> および <i>in vivo</i> にてニューモリシンを抑制ことを明らかにし、今後の肺炎球菌治療法へ貢献が大いに期待される。 以上のように本論文はマクロライド系抗菌薬に耐性の肺炎球菌治療法研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。			